

第3学年 国語科学習指導案

書式は学校の指定に合わせて調整してお使いください。

日 時 令和 年 月 日 () 第 校時
場 所
指導者

1 単元名

「しょうかいする文章を書き、感想をつたえ合おう」 教材名「わたしの町のよいところ」

2 単元の目標

考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解する（(2)ア）。相手や目的を意識して町のよいところから書くことを選び、内容のまとまりで段落をつくって紹介する文章を書き、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける（B(1)ア・イ・オ）。言葉がもつよさに気付き、思いや考えを進んで伝え合おうとする（学年の目標(3)）。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。（(2)ア）	①「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。（B(1)オ）	①町のよさが読む人に伝わるかを粘り強く確かめながら書き、学習の見通しをもって、紹介する文章について感想を伝え合おうとしている。

4 指導上の考察

（1）単元について

本単元は、自分たちが住む町のよいところを選び、そのわけを挙げて紹介する文章を書き、読み合って感想を伝え合う書くことの単元である。学習指導要領第3学年及び第4学年のB(1)オ「書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること」を中心に、〔知識及び技能〕(2)アの考えと理由の関係を合わせて指導する。言語活動はB(2)ア「調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動」に当たる。

第1学年及び第2学年では、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること（B(1)オ）を学んでいる。本単元では、「書こうとしたことが明確になっているか」という観点をもって読み合い、友達の感想を基に自分の文章のよいところを見付ける。「よいところ」と「そう思うわけ」を組にして書くことは、第4学年で理由に事例を加えて考えを書く学習（B(1)ウ）へとつながる。社会科の第3学年で学ぶ身近な地域や市区町村の様子とも関連付けられ、町探検で見たことや聞いたことを書く材料にできる。

（2）児童について

（学級の子どもの様子を先生が書く）

(3) 指導について

指導に当たっては、次の三つを大切にする。まず、紹介する相手（家の人・下の学年・地域の人など）を単元の初めに決め、相手に何を知ってほしいかを考えて書くことを選ばせる（B(1)ア）。それから、「よいところ」と「そう思うわけ」を組にして書き出させ、わけには自分が見たことや聞いたことを入れさせる（(2)ア）。そして、読み合いの観点を子どもの言葉から決め、感想カードには「いいなと思った文」を書き写してから感想を書く順にする（B(1)オ）。地域のお店や人を取り上げる時は、写真を撮る前や名前を書く前に相手の了解を得ることを指導する。

読み合いの後に、友達の感想を基に自分の文章のよいところを一つ以上挙げている物を「おおむね満足できる」状況、内容と書き方の両面からよいところを挙げ、今度書く時にいかすことまで書いている物を「十分満足できる」状況の目安にする。

5 指導と評価の計画（全10時間）

次	時	学習活動	評価規準（評価方法）
第1次	1	○自分たちの町にある場所・物・行事・人を思い出して出し合う。 ○学習課題「町のよいところを紹介する文章を書き、感想を伝え合おう」を立て、紹介する相手と学習計画を決める。	態①（発言・ノート）
第2次	2	○紹介したいものを書き出し、それぞれについて「よいところ」と「そう思うわけ」を図に広げる。	
	3	○紹介するものを一つ決め、写真や見学のメモ、家の人に聞いたことなどから、わけになることを集める。	知①（図・メモ）
	4	○組み立ての例（先生が教科書から示す）を見て、初め・中・終わりに何を書くかを確かめる。	
	5	○組み立てメモを作る（初め＝紹介するもの、中＝よいところとそのわけ、終わり＝読む人へのよびかけ）。	知①（組み立てメモ）
	6	○文章の例（先生が教科書から示す）を読み、紹介する文章を書く時の工夫を確かめる。 ○初めの段落を書く。	
	7	○中の段落を書く。よいところとそのわけを、まとまりごとに段落を分けて書く。	知①（下書き）
	8	○終わりの段落を書き、読み返して間違いを直す。写真や絵を添えて仕上げる。	態①（文章・読み返しの記録）
第3次	9 （本時）	○グループで文章を読み合い、よいところとわけが伝わったかについて感想を伝え、自分の文章のよいところを見付ける。	思①（感想カード・ノート）
	10	○感想を基に自分の文章のよいところをまとめ、紹介する相手に届ける準備をする。 ○学習を振り返る。	思①（ノート） 態①（振り返り）

6 本時の指導 (9/10)

(1) 本時の目標

友達と紹介する文章を読み合い、町のよいところとそのわけが明確に書けているかについて感想を伝え合って、自分の文章のよいところを見付けることができる。(B(1)オ)

(2) 学習過程

段階	学習活動 (○主な発問) ・ 予想される児童の反応	指導上の留意点 (◎評価)
導入 (分)	1 前時に仕上げた紹介する文章を手元に置き、学習計画で本時の学習を確かめる。 2 感想を伝える観点を考える。 ○「町のよいところが伝わる文章には、どんなことが書いてありましたか」 【めあて】町のよいところが伝わるかを考えて読み合い、自分の文章のよいところを見つけよう。 〈予想される児童の反応〉 ・ よいところと、そのわけが書いてある。 ・ 見たことや聞いたことが書いてあると、行ってみたいくなる。 ・ 終わりに「行ってみてください」とよびかけている。	・ 子どもの言葉から、観点を「よいところ」「わけ(見たこと・聞いたこと)」「読む人へのよびかけ」の三つにまとめて掲示する。 ・ 何かが書いてあるか(内容)と、どう書いてあるか(書き方)の両方に目を向けることを伝える。
展開 (分)	3 三人か四人のグループで、文章を順に読み、感想カードに書く。 ○「この文章を読んで、いちばん行ってみたいくなったのはどこですか。どの文からそう思いましたか」 4 感想カードを渡しなが、書き手に感想を伝える。書き手は、伝わってうれしかったことを返す。 5 全体で、友達の文章のよいところを紹介し合う。 〈予想される児童の反応〉 ・ 公園の遊具のことに、自分が遊んだ時のことが書いてあって、楽しさが伝わった。 ・ 「なぜかというと」の後に、わけが二つあってはっきりしている。 ・ 写真があるので、どこの場所かがすぐに思い浮かんだ。 ・ お店の人に聞いたことが書いてあって、初めて知った。	・ 感想カードは「いいなと思った文(書き写す)」「そう思ったわけ」の二つの欄にする。 ・ 感想が言えない子には、観点の掲示を一つずつ示し、「わけはどこに書いてあったか」から聞く。 ・ 「おもしろかった」だけの感想には、「どの文で、どうしてそう思ったか」と返す。 ・ グループは、同じものを紹介した子が重ならないように先生が組む。 ・ 端末で文章と写真を共有している場合は、コメントで感想を伝えてもよい。 ・ 全体の紹介では、わけの書き方が違う二つの文章を取り上げ、どちらのよさも認める。

段階	学習活動（○主な発問） ・予想される児童の反応	指導上の留意点（◎評価）
まとめ （分）	6 友達からもらった感想カードを読み、自分の文章のよいところをノートに書く。 （型）「わたしの文章のよいところは、…です。…さんが…と言ってくれたからです」 7 振り返りを書く。	・よいところは、友達の感想カードの言葉を使って書かせる。 ・振り返りは「自分の文章のよいところ」「今度書く時にいかしたいこと」の二つで書かせる。 ・次時は、紹介する相手に文章を届ける準備をすることを伝える。 ◎思① 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。（感想カード・ノート）

（3）板書計画（縦書き・右から左へ）

右端に日付、題名、めあて。その左に、感想を伝える三つの観点（よいところ・わけ・読む人へのよびかけ）を短冊で並べ、それぞれに「内容」「書き方」の札を添える。中央に、全体で紹介した二つの文章の、わけを書いた文を拡大して並べて貼り、「なぜかという」と「～からです」などの言葉に線を引く。その左に、子どもから出たよいところを観点ごとに書き足す。左端に、自分の文章のよいところを書く型と、振り返りの観点二つ。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」 (@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
 みえ先生ラボ

